

地域経済動向レポート

調査時期	2026年4月			対象期間	2026年1月～3月	
対象事業所	小規模事業者対象 ①振興モニター 170件 (うち回答76件) ②市内金融機関取引先19件 (うち回答16件)					
全産業合計	92 件 ※全調査対象189件 中回答92件 = 回収率48.7%					
回答業種内訳	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他
(小規模回答件数)	16	27	4	14	24	7
付帯調査	【付帯調査】なし					

【全体の動向】

市内小規模の**売上D I**は（前回2.0→今回3.3）とプラス幅が拡大したが、先行きは大幅に悪化の見通し。
 中小機構実施の全国小規模の売上D Iは（前回△10.2→今回△11.7）と横ばい、先行きはマイナス幅縮小の見通し。

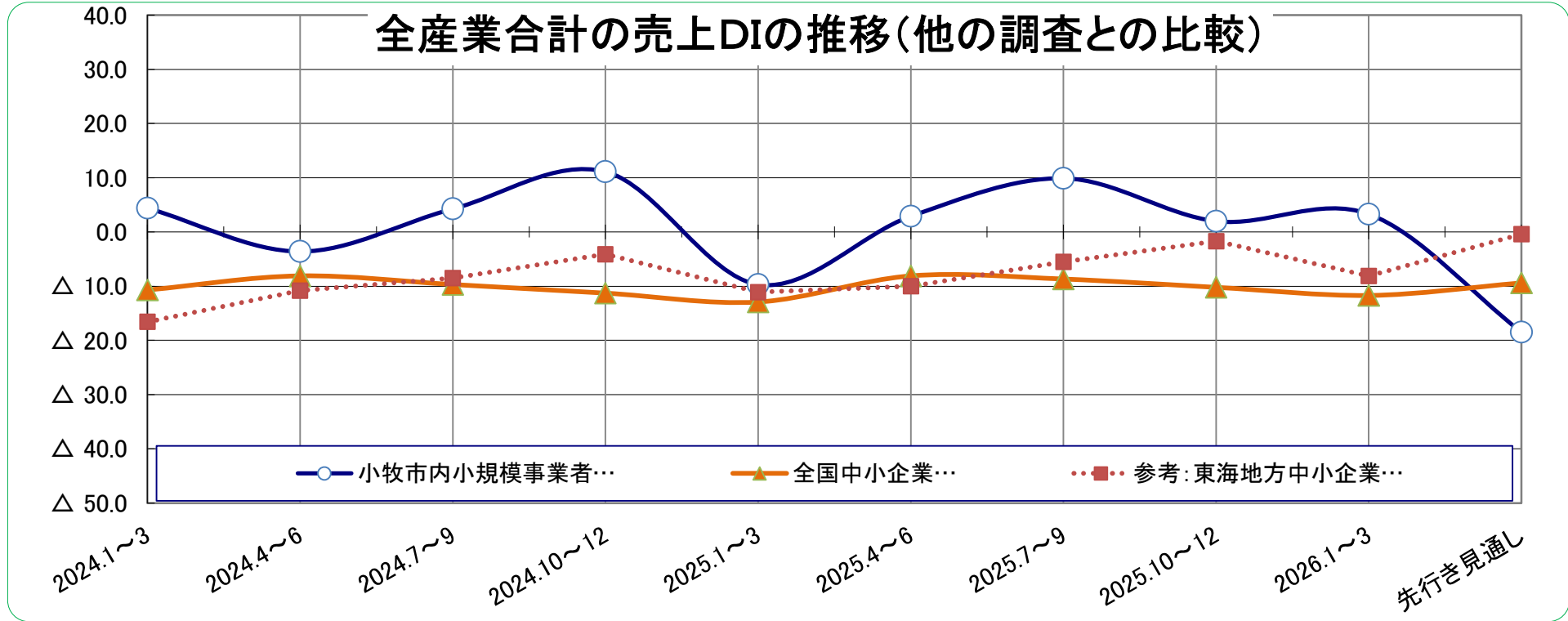
参考資料の東海財務局が実施する東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡）中小企業の業況判断B S Iでは
 （前回△1.7→今回△8.1）とマイナス幅拡大、先行きはマイナス幅は縮小の見通しで、全国・東海地方で比較すると市内小規模は悪化傾向。

※D I = 前年同期と比較にて（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

B S Iは直前四半期と比較にてD Iと同じ計算方法

【市内小規模全産業合計の売上D I～従業員D Iの動向／指標別】

- ①**売上D I**は2025年10～12月の調査よりプラス幅は拡大（前回2.0→今回3.3）し、先行きは悪化の見通し。
- ②**採算D I**はマイナス幅はほぼ横ばい（前回△9.2→今回△8.7）するが、先行きは大幅にマイナス幅が拡大の見通し。
- ③**資金繰りD I**はマイナス幅が縮小（前回△7.1→今回△5.4）し、先行きは大幅にマイナス幅拡大の見通し。
- ④**従業員D I**は、不足感はマイナス幅が拡大（前回△9.2→今回△14.1）し、先行きは再びマイナス幅は縮小の見通し。



調査対象期間	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12	2025.1～3	2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12	2026.1～3	先行き見通し
小牧市内小規模事業者 売上DI (当所調査)	4.4	△ 3.6	4.3	11.1	△ 9.7	2.9	9.9	2.0	3.3	△ 18.5
全国中小企業 売上DI ((独)中小企業 基盤整備機構調査)	△ 10.7	△ 8.1	△ 9.7	△ 11.3	△ 12.9	△ 8.1	△ 8.7	△ 10.2	△ 11.7	△ 9.4

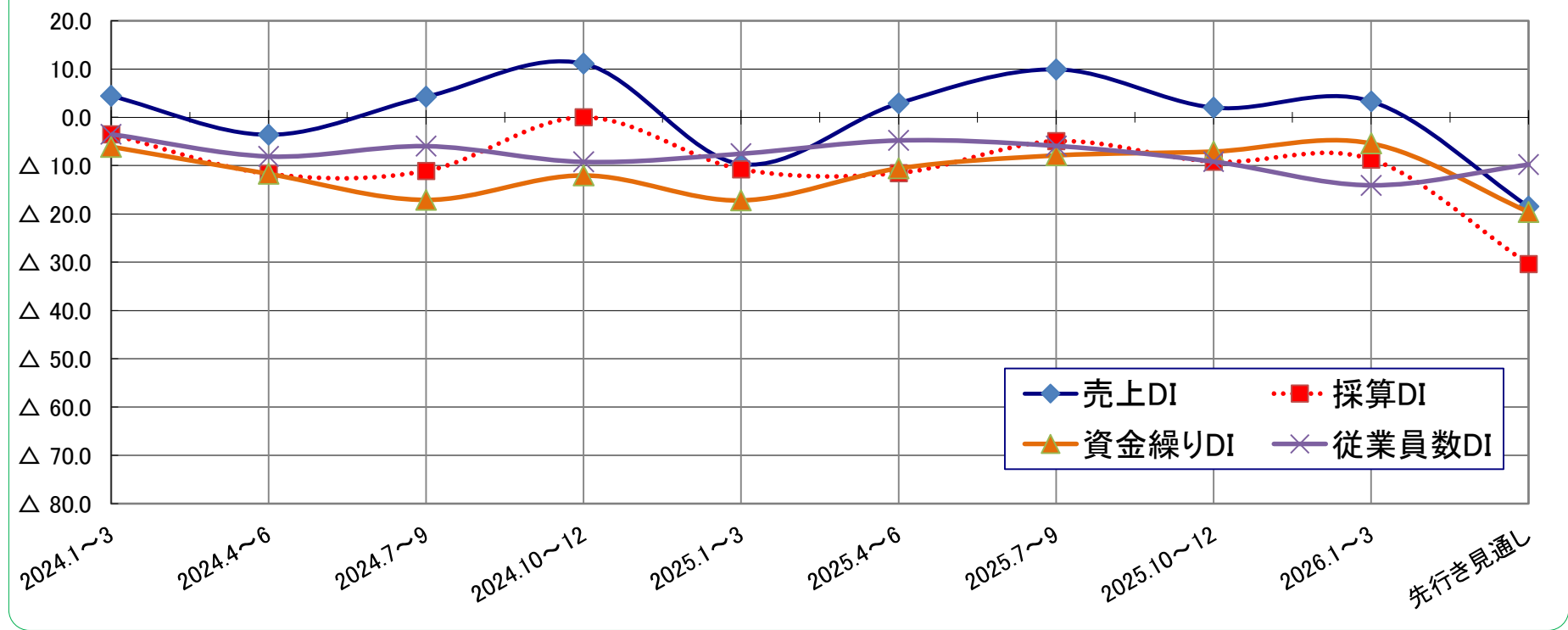
※DI＝前年同期比（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

【参考】

参考：東海地方中小企業 景況判断BSI (東海財務 局調査)	△ 16.6	△ 10.8	△ 8.5	△ 4.1	△ 11.1	△ 10.0	△ 5.5	△ 1.7	△ 8.1	△ 0.4
--------------------------------------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

※BSI＝直前調査比（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

全産業合計の売上DI～従業員DIの推移(小規模)



●全DIの推移

調査期間	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12	2025.1～3	2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12	2026.1～3	先行き見通し
売上DI	4.4	△ 3.6	4.3	11.1	△ 9.7	2.9	9.9	2.0	3.3	△ 18.5
採算DI	△ 3.5	△ 11.7	△ 11.1	0.0	△ 10.8	△ 11.5	△ 5.0	△ 9.2	△ 8.7	△ 30.4
資金繰りDI	△ 6.1	△ 11.7	△ 17.1	△ 12.0	△ 17.2	△ 10.6	△ 7.9	△ 7.1	△ 5.4	△ 19.6
従業員数DI	△ 3.5	△ 8.1	△ 6.0	△ 9.3	△ 7.5	△ 4.8	△ 5.9	△ 9.2	△ 14.1	△ 9.8

●売上DIの推移

調査期間	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12	2025.1～3	2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12	2026.1～3	先行き見通し
全産業	4.4	△ 3.6	4.3	11.1	△ 9.7	2.9	9.9	2.0	3.3	△ 18.5
建設業	0.0	0.0	15.0	17.7	17.7	△ 5.0	23.5	△ 5.6	△ 18.8	△ 62.5
製造業	16.7	△ 3.2	8.6	8.6	△ 31.8	9.7	0.0	△ 6.9	△ 3.7	△ 25.9
卸売業	0.0	△ 100.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 50.0	0.0	△ 33.3	33.3	50.0	0.0
小売業	0.0	△ 25.0	△ 23.5	△ 21.4	△ 15.4	7.7	14.3	0.0	△ 7.1	△ 7.1
サービス業	3.2	14.3	17.7	43.3	3.3	△ 3.5	16.7	10.7	16.7	12.5
その他	△ 14.3	△ 16.7	△ 16.7	25.0	△ 28.6	16.7	0.0	12.5	28.6	△ 28.6

【POINT】売上DIは、卸・サービス・その他業種で改善したが、先行きは建設・その他業種の大幅な落ち込み予想が影響し全産業の売上DIを引き下げた。コメントでは原油調達難に起因する受注難等売上減少の不安が多く挙げられた。

●採算DIの推移

調査期間	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12	2025.1～3	2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12	2026.1～3	先行き見通し
全産業	△ 3.5	△ 11.7	△ 11.1	0.0	△ 10.8	△ 11.5	△ 5.0	△ 9.2	△ 8.7	△ 30.4
建設業	△ 8.7	△ 20.0	△ 15.0	0.0	11.8	△ 30.0	△ 5.9	△ 16.7	△ 25.0	△ 56.3
製造業	16.7	△ 3.2	2.9	2.9	△ 40.9	△ 3.2	△ 6.7	△ 17.2	△ 18.5	△ 37.0
卸売業	△ 20.0	△ 66.7	△ 40.0	△ 33.3	△ 50.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 33.3	25.0	0.0
小売業	△ 16.7	△ 18.8	△ 23.5	△ 28.6	0.0	0.0	7.1	0.0	△ 14.3	△ 21.4
サービス業	△ 3.2	△ 2.9	△ 8.8	16.7	3.3	△ 13.8	△ 6.7	0.0	8.3	△ 12.5
その他	△ 28.6	△ 33.3	△ 33.3	12.5	△ 28.6	16.7	0.0	0.0	0.0	△ 42.9

【POINT】採算DIは、一部で改善傾向が見られたものの、先行きは売上と同じく悪化の見通し。

●資金繰りDIの推移（小規模）

調査期間	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12	2025.1～3	2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12	2026.1～3	先行き見通し
全産業	△ 6.1	△ 11.7	△ 17.1	△ 12.0	△ 17.2	△ 10.6	△ 7.9	△ 7.1	△ 5.4	△ 19.6
建設業	0.0	△ 15.0	△ 20.0	△ 17.7	△ 11.8	△ 20.0	0.0	△ 5.6	△ 18.8	△ 43.8
製造業	△ 3.3	△ 16.1	△ 14.3	△ 14.3	△ 27.3	△ 6.5	△ 20.0	△ 24.1	△ 14.8	△ 25.9
卸売業	0.0	△ 33.3	△ 20.0	△ 33.3	△ 25.0	0.0	0.0	0.0	△ 25.0	0.0
小売業	△ 11.1	0.0	△ 29.4	△ 28.6	△ 7.7	0.0	△ 14.3	8.3	7.1	7.1
サービス業	△ 3.2	△ 5.7	△ 8.8	△ 3.3	△ 13.3	△ 17.2	6.7	0.0	8.3	△ 12.5
その他	△ 42.9	△ 33.3	△ 33.3	0.0	△ 28.6	0.0	△ 28.6	0.0	0.0	△ 28.6

【POINT】資金繰りDIは、製造・サービスで改善したが、先行きは卸を除きで大幅に悪化の傾向。

●従業員DIの推移（小規模）

調査期間	2024.1～3	2024.4～6	2024.7～9	2024.10～12	2025.1～3	2025.4～6	2025.7～9	2025.10～12	2026.1～3	先行き見通し
全産業	△ 3.5	△ 8.1	△ 6.0	△ 9.3	△ 7.5	△ 4.8	△ 5.9	△ 9.2	△ 14.1	△ 9.8
建設業	△ 4.3	△ 15.0	△ 15.0	△ 5.9	△ 11.8	0.0	△ 11.8	△ 5.6	△ 18.8	△ 18.8
製造業	0.0	△ 9.7	0.0	0.0	△ 9.1	△ 9.7	△ 10.0	△ 13.8	△ 22.2	△ 18.5
卸売業	0.0	0.0	△ 20.0	△ 16.7	△ 25.0	0.0	0.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 25.0
小売業	△ 11.1	△ 12.5	△ 5.9	△ 21.4	△ 7.7	△ 7.7	0.0	0.0	△ 21.4	0.0
サービス業	△ 3.2	△ 2.9	△ 2.9	△ 6.7	△ 6.7	0.0	0.0	△ 7.1	4.2	4.2
その他	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	14.3	△ 16.7	△ 14.3	△ 12.5	△ 14.3	△ 14.3

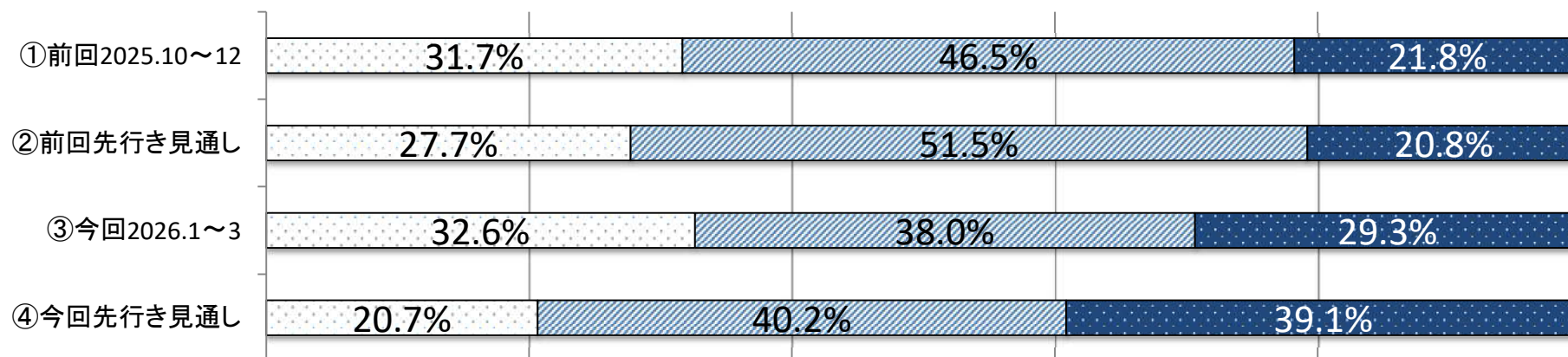
【POINT】従業員DIは、小売で大幅な不足が目立ったが、先行きでは人員不足が解消される傾向。他の各業種では大きな変動は見られない。

業況感と業界として当面している問題等に関する声

業種		内容
建設	現状	人手不足により工事の進みが悪かった為。 / 塗装工事
	先行き	中東情勢で石油関連の不足、材料高騰の一方で施工単価に転嫁できるほど日本経済は上向いてない。株価は上がっているが、一部大企業と株主が利益を得ているだけ。 / 内装工事
製造	現状	昨年春以降は、EV関連投資の低迷等で売上が14万に満たない月が続き銀行への支払い等厳しくなっている。 / 省力機設計製作
	先行き	ナフサの影響が今後も続くと死活問題である。 / 印刷業
卸売	現状	売上は増加したが、梱包資材や運賃コストの急な値上がりで販売金額が追いつかず、悪化傾向。変わらず雇用については不足です。 / 有機野菜の流通卸売
	先行き	仕入れ、各経費の上昇、商材の在庫切れ、などが影響して来そうです。 / 縫製関係機器・部品卸売
小売	現状	仕入れ価格の上昇。 / 生花・鉢植販売
	先行き	「エアコンの2027年問題」により、買い替え需要が増加する見込みであるため。 / 家庭電化品の販売・修理
サービス	現状	世界情勢の不安定などでの物価高騰が収まらないと売上が上がっても支出が増える一方です。 / 飲食業
	先行き	光熱費、材料費が値上がりすれば、悪化するかも。 / 喫茶店
その他	現状	燃料費が高騰。 / 一般貨物自動車運送事業
	先行き	世界情勢を含めて安定しないと状況は変わらないと思われます。 / 不動産仲介業

小規模の売上(回答割合)

■ 増加 ■ 不変 ■ 減少



小規模の採算(回答割合)

■ 好転 ■ 不変 ■ 悪化

